



### 医療フォーラム で感じたこと

先日、東京都在宅医療推進フォーラムに参加しました。テーマは「都民の生活に寄り添う医療を実現するために」。医師、看護師、IT会社社員、歯科医師、病院連携室ス



**松原 清二 医師**  
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長  
総合内科専門医・循環器内科医  
・日本循環器学会専門医  
・日本内科学会認定医  
・認知症サポート医

タッフなどがグループできる介護サービスが利用できる「という意見も出ています。実はこれは、当院でも患者さん、ご家族からよく受ける言葉です。▼「関係者」「クラウドサービス」を利用した患者情報の漏れをなくす」▼「病後の患者生活」▼「退院後の患者生活を円滑にするために、地域包括支援センターや訪問看護ステーションなどに連絡し、調整を行う」といった具合です。私自身は、グループの司会進行をしながら、「みんな、それぞれの立場で役割を理解し、『地域で高齢者を支える』という意識が大変強いな」という印象を受けました。一方で別のグループでは、「在宅医療を受けたけれど、その窓口がわからない」とよく言われ

「地域で高齢者を支える」という意識が大変強いな」という印象を受けました。一方で別のグループでは、「在宅医療を受けたけれど、その窓口がわからない」とよく言われ

【まつばらホームクリニック】  
**☎ 042-439-1250**  
西東京市東町 4-14-18-2F  
(訪問のため不在が多い)  
■電話対応 : 午前 9:00 ~ 午後 6:00  
■定休日 : 土日 (祝日は診療)  
■訪問地域 : 西東京市全域、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック